

「津軽ダムの日」(感謝と定礎の式典)

10時00分～12時00分

アトラクション

お山参詣

1. 開 式
2. 主催者あいさつ 岩木川沿川市町村代表 弘前市長
3. 来賓祝辞 青森県知事
4. あいさつ 国土交通大臣 (代理)
5. 来賓紹介
6. 感謝状贈呈 用地提供者代表
7. メモリーストーン設置 西目屋小学校児童
8. 定礎の儀 ○お清め
○礎石搬入
○定礎の儀
 - ・鎮定の儀 ちんていのぎ
 - ・齋鍔の儀 いみごてのぎ
 - ・齋槌の儀 いみづちのぎ
 - ・埋納の儀 まいのうのぎ
9. 万歳三唱
10. 閉 式

※ 参 考

「鎮定の儀」 定礎の儀のはじめに搬入された礎石（黒御影石：横70cm、縦50cm、高さ30cm、重さ約300～400kg）を固めるため、モルタルを礎石の基礎に入れるものです。工事を進める道をつけるという意味があります。

「齋鍔の儀」 鎮定の儀により礎石の周りに入れられたモルタルを鍔でならすものです。
鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味があります。

「齋槌の儀」 槌で礎石を叩いてしっかりと納めるものです。鎮定の儀でつけられ、齋鍔の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味があります。

「埋納の儀」 定められた礎石を堤体の一部として埋め込むものです。
ケーブルクレーンに吊されたバケットからコンクリートを投入します。